

## 高槻市立第一中学校 第三学年 平和宣言文

本日、私たちは修学旅行で長崎を訪れ、平和記念像の前に立っています。

ここは、1945年8月9日、午前11時2分、原子爆弾が投下され、多くの尊い命が奪われた場所です。私たちは、戦争の悲惨さや被爆の実態を学び、平和の尊さを深く感じました。被爆者の方々の証言から、原爆がもたらした苦しみや悲しみを知りました。ある被爆者は、「こんな思いは他の誰にもさせてはならない」と語りました。その言葉は、私たちの心に深く刻まれました。

平和学習を始める前、私たちは平和とは「戦争がないことである。日本は平和だ」と考えていました。しかし学習を進めるうちに平和とは、ただ戦争がない状態ではなく、人々が互いに尊重し合い、安心して暮らせる社会のことだと学びました。しかし、世界では今もなお、戦争や紛争、差別や貧困など、多くの問題が存在しています。私たちは、これらの問題に目を向け、解決に向けて行動していく必要があると学習を通じて強く思うようになりました。

私たちにできることは、小さなことかもしれませんが、しかし、身近な人々に思いやりを持ち、助け合い、争いを避けることから始めることが大切です。「平和とは、何もないこと」という言葉があります。争いも、いじめも、差別もない、そんな日常を守ることが、平和への第一歩です。

私たち高槻市立第一中学校生徒一同は、以下のことを誓います。

1. すべての命を大切にし、暴力を許さず、思いやりの心を持ちます。
2. 相手の立場に立って考え、互いに尊重し合います。
3. かけがえのない地球環境を守り、持続可能な社会を目指します。
4. 平和の大切さを学び、次の世代へ伝えていきます
5. 身近な人々を笑顔にし、信頼関係を築いていきます。

これらの誓いを胸に、私たち高槻市立第一中学校生徒一同は、平和な未来を築くために努力していきます。被爆者の方々の思いを受け継ぎ、世界中の人々が安心して暮らせる社会を目指して、行動していきます。

最後に、原爆で命を落とされたすべての方々のご冥福を心からお祈りし、深い哀悼の意を表して、ここに黙祷を捧げたいと思います。